

## 公的医療機関等 2025 プラン（2023 年度版）

## ○基本情報

- ・ 医療機関名 埼玉医科大学病院
- ・ 開設主体 学校法人 埼玉医科大学
- ・ 所在地 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 3 8
- ・ 許可病床数  
（病床種別）一般病床 8 7 7、精神科病床 7 8、感染症病床 6 床  
（病床機能別）高度急性期 8 7 7 床
- ・ 稼働病床数  
（病床種別）一般病床 6 9 4、精神科病床 7 6  
（病床機能別）高度急性期 6 9 4 床
- ・ 診療科目  
内科、精神科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、救急科、呼吸器外科、消化器内科、消化器外科、循環器科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、形成外科、呼吸器科、脳神経内科、小児外科、リウマチ科、心臓外科、美容外科、矯正歯科、病理診断科、緩和ケア内科、血管外科
- ・ 職員数  
（医師） 4 4 0（歯科医師含む）  
（看護職員） 8 9 0（看護師、准看護師、看護助手）  
（専門職） 4 2 2  
（事務職員） 9 7

## 1. 現状と課題

## ①当該病院（自施設）の現状

## 基本理念

当院は、すべての病める人に、満足度の高い医療を行うよう努めます。

## 病院の基本方針

1. すべての病める人々にまごころをもって臨みます。
2. 安心して質の高い医療を実践します。
3. まわりの医療機関と協力し合います。
4. 高い技能を持つ心豊かな人材を育成します。
5. より幸せとなる医療を求めた研究を推進します。

## 自院の診療実績

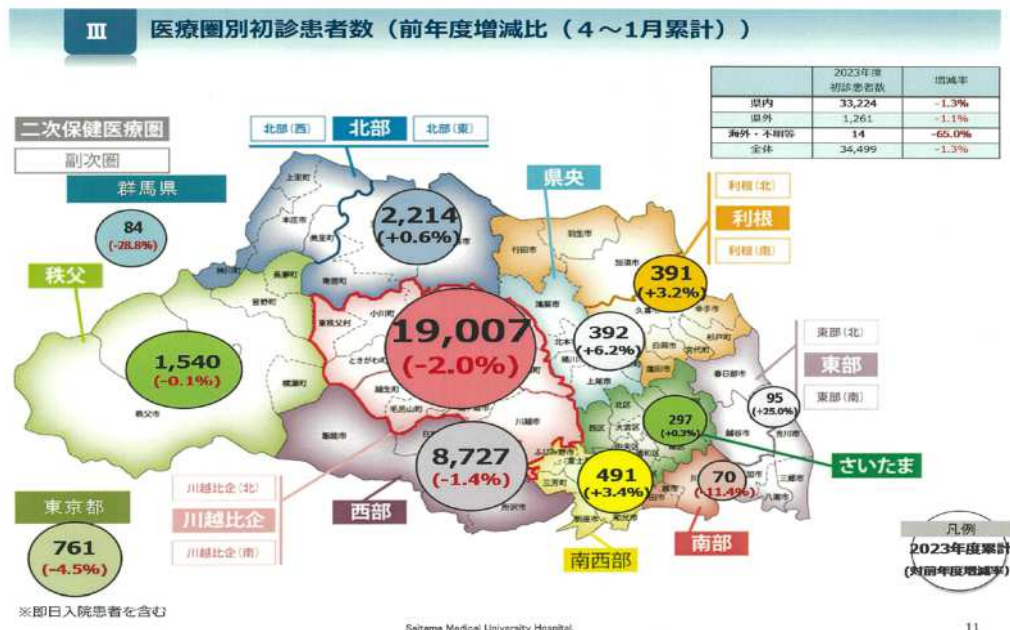
入院基本料：7 対 1 特定機能病院入院基本料

病床稼働率：88.4%

平均在院日数：11.6 日

重症度、医療・看護必要度Ⅱ：33.2%

紹介率：75.9%、逆紹介率：62.5% (旧算定式) 43.4% (新算定式)



- ・ 地域内での役割・機能
  - ・ 大学病院（特定機能病院）としての高度医療・急性期医療の提供
  - ・ 救急車搬送患者等に対する救急医療を提供
  - ・ 地域医療の基幹病院としての医療提供と連携
  - ・ 災害拠点病院としての災害医療の提供と関係機関との連携
  - ・ 救急医療の砦としての役割（特に小児科）
  - ・ 感染症指定医療機関としての役割
  - ・ 地域周産期母子医療センターとして高度な医療行為を実施し、24 時間体制での周産期救急医療を提供
  - ・ 精神疾患を合併した妊産婦医療の提供
- ②当該病院（自施設）の課題

- ・ 転院調整に日数を要している。(最近転院調整システムを導入したところである)  
高度急性期・急性期直後の患者の受け皿となる医療機関が少ない。  
双方の医療機関の転院調整システムの再構築が必要。

## 2. 医療機能ごとの病床数

時点	病床数	医療機能別					区分別	
		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休床	一般	療養
2023年 7月1日 時点	877	730	0	0	0	147	877	0
2025年 7月1日 時点	877	877	0	0	0	0	877	0

※令和5年度病床機能報告の数値を入力

## 3. 今後の方針

①地域医療構想を踏まえた当該病院（自施設）の地域において今後担うべき機能・役割

- ・ 地域包括ケアシステム構築に向けた大学病院としての役割分担・機能分担の構築  
（急性期、回復期、慢性期間の医療連携パス、医療介護連携パスの充実・構築）
- ・ 地域の基幹病院として、他の医療機関との連携の下、救急医療体制の充実を図る。

②①を踏まえた今後の方針

（病床機能や診療科の見直し、他病院との連携の方針、その他見直しの予定等）

- ・ 紹介患者の増加、逆紹介患者の増加、応需率の向上

③その他の数値目標について

- ・ ①②に関連する当該病院（自施設）で設定している数値目標を記載

紹介率 75%以上、逆紹介率 65%以上（旧算定式）40%以上（新算定式）

## 4. 新興感染症への取組

新型コロナウイルスが蔓延し、感染症指定医療機関としての使命を果たすべく、新型コロナウイルス感染症における感染症法上の分類変更等の状況も注視しつつ、発熱外来

を維持するとともに、同感染症病床必要病床数を確保し、感染症重症患者等の受入に努めた。アフターコロナ外来においては、後遺症に苦しむ患者への継続的な治療と支援に取り組んでいる。また、埼玉県委託事業の新型コロナワクチン接種副反応相談窓口となっており、受け入れも行っている。

## 5. その他

令和6年能登半島地震被災地への支援として、国や県、関係団体からの要請を受け、医療従事者の派遣や必要な医療物資の供給など、引き続き必要な支援に努める。